

ロンベルグ指数のDLB 鑑別診断への有用性の研究

1. 研究の対象

2020年1月1日から2026年7月31日までの間に、当センター物忘れ外来を受診し、バイオバンク研究への参加に同意された方のうち、DLB（レビー小体型認知症）又はAD（アルツハイマー型認知症）と診断された方を対象とします。

2. 研究の期間

研究機関の長による実施許可日 ～ 2029年3月31日

3. 研究目的および意義

レビー小体型認知症は、アルツハイマー型認知症と症状が似ていることが多く、診断が難しい場合があります。

当センターでは、物忘れ外来を受診された方に対し、通常の診療の一環として、立ったときの体の揺れ（バランス）を調べる検査を行っています。

この研究では、これまでの診療で得られた診療情報や検査結果を用いて、このバランスの検査が、レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症を見分けるために役立つかどうかを調べます。

この研究により、レビー小体型認知症をより早く、より正確に診断できる方法の開発につながることを期待されます。

4. 研究の方法

当センター物忘れ外来を受診し、バイオバンク研究への参加に同意された方のうち、本研究の対象となる方について、これまでの診療で記録された診療録、画像情報及び通常診療で実施した検査結果を利用します。

利用する情報には、年齢、性別、診断名、症状、重心動揺検査（立ったときの体の揺れを調べる検査）の結果、画像検査結果及び通常診療で実施した検査結果が含まれます。

これらの情報を用いて、重心動揺検査の結果が、レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症を見分けるために役立つかどうかを調べます。

なお、この研究のために新たな検査や採血をお願いすることはありません。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、診断日、症状（認知機能の変動、レム睡眠行動障害、パーキンソン症状、幻視、転倒歴、自律神経症状）、重心動揺検査結果（Romberg 指数）、画像検査結果、診療録に記載された診療情報です。

6. 研究組織

研究代表者

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 名誉理事長 鳥羽 研二

研究分担者

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

中居龍平、古田光、神崎恒一、秋下雅弘

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

研究責任者：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

名誉理事長 鳥羽 研二

電話 03-3964-1141 （平日 9：00～17：00）